aDesignerによるFlashの アクセシビリティチェック・ 修正方法

Accessibility Tools Framework (ACTF) Project

はじめに

- 初回起動時には(A),(B),(C)をお読み下さい。
- チェック方法については (1) 以降をお 読み下さい。

現バージョンのaDesignerでは一部のFlash10のコンテンツに関する詳細情報は取得できません. ご了承下さい.

(A) 起動後、Flashモードを選択する



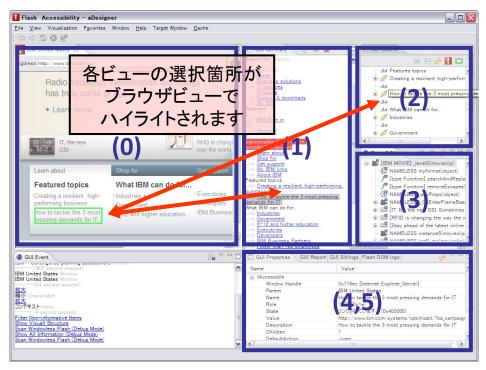
- モード選択ダイアログにて「Flashア クセシビリティ」を選択してください。
- Tip: このダイアログが表示されない 場合はファイル > モード選択 から 表示できます。

(B)「キャッシュの削除」ダイアログ



- Flashモードを選択すると場合によっては(少なくとも初回起動時は必ず)、キャッシュを削除するかどうかを確認するダイアログが表示されます。
- Flashモードが確実に動作するためには、1番目のオプション「確認せずに削除」を選択することをお勧めします。(このオプションはInternet Explorerのキャッシュを起動時に毎回、削除します)
- 2番目のオプション「今回だけ」を選択すると、今回は キャッシュが削除されます。今後aDesignerを起動す るたびにこのダイアログが表示されます。
- Tip: この設定は ウィンドウ > Preferences から変更できます。

(C) 起動後の画面



起動後の画面は標準の状態では図のようになっています。

0. ブラウザ

通常のブラウザです。チェックしたいWebページを表示します。

1. GUIサマリー

スクリーンリーダによって読み上げられるテキストの内容、順番をシミュレートしたものが表示されます。 チェックには一番使いやすいと思われます。

2. GUIアウトライン

MSAAという、Windows OSのアクセシビリティ機構を用いて取得した、Webページのツリー構造が表示 されます。各オブジェクトの種類 (ボタン、テキスト、リンクなど) がわかります。GUIサマリービューの情 報は基本的に、このビューのツリーから作られています。

3. Flashアウトライン

Flashの内部構造を取得して、そのツリー構造を表示しています。エキスパート向けなので詳細は省略 します。

4.5 のビューはタブで切り替えられます。(いくつかのタブは説明を省略しています)

4. GUIプロパティ

GUIアウトラインビューまたはFlashアウトラインビューで選択した要素の詳細が表示されます。ややエ キスパート向けです。

5. GUIレポート

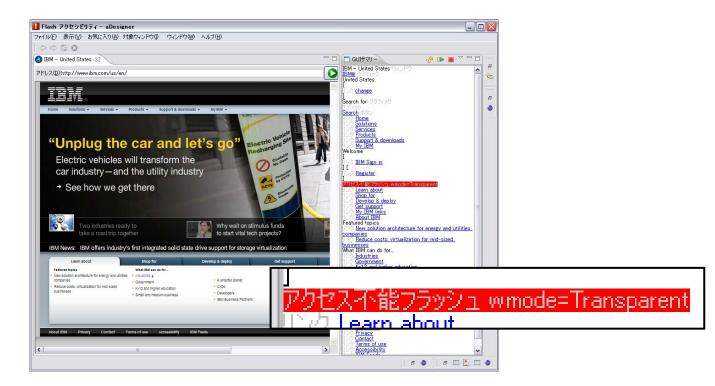
アクセシビリティ・チェックの結果が表示されます。

「レポートアイコンを画面上に表示する」を選択すると、左上のブラウザビューの該当箇所にエラーおよ び警告のアイコンが表示されます。エラーの場所を特定する場合に便利です。 © 2007, 2012 by IBM Corporation; made available under the EPL v1.0 5

aDesignerによるチェック・修正

- 以下の順番で行うことをお勧めします
 - 1. アクセス不可能Flashの修正
 - 2. テキスト情報 (ALT text) の付加
 - 3. 読み上げ順序の修正
 - 以降のスクリーンショットでは不要なビューを最小化して、ブラウザビューとGUIサマリービューだけを表示しています

(1) アクセス不可能Flashの修正



- GUIサマリーにこのエラーが表示された場合、ユーザはここに Flashがあることを把握できません。
 - 「wmode=Transparent」はFlashを埋め込む際のwmode属性の値がTransparentであることを表しています。

(1) の解決策

Flashを読み込んでいるHTMLファイルの該当部分で、wmodeに関する指定を取り除きます。

```
<object width='100' height='100'>
...
   <param name='movie' value='...'>
        <param name='wmode' value='transparent'>
        <embed src='...' wmode='transparent' ...></embed>
</object>
```

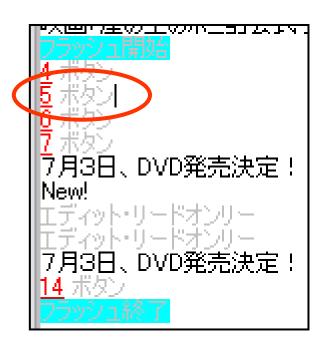


```
<object width='100' height='100'>
    ...
    <param name='movie' value='...'>
    <embed src='...' ...></embed>
</object>
```

副作用: これによってページの見た目が変わる場合があります

(2) テキスト情報 (ALT text) の付加





- GUIサマリーで
 - 「<数字>ボタン」
 - 「<数字> グラフィック」

などとなっている行をクリックします。 対応する要素の場所がブラウザ ビュー上に表示されます。

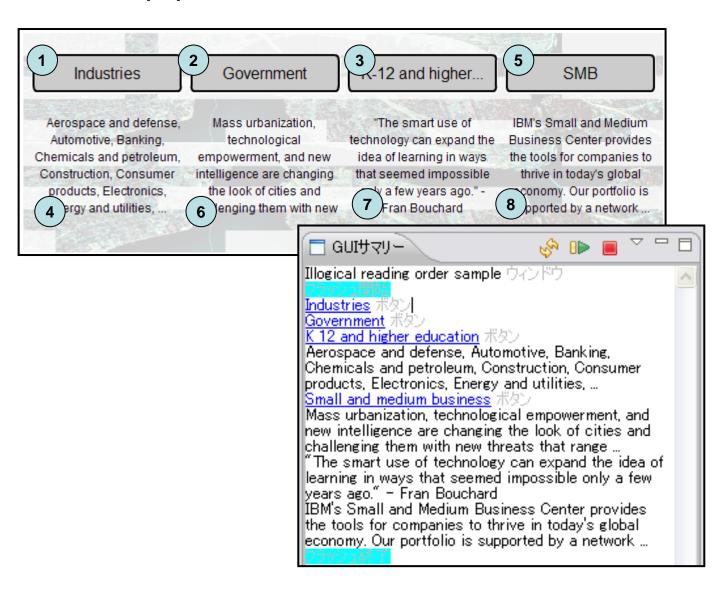
テキスト情報が付加されていないために、スクリーンリーダにより自動で割り振られた数字が説明として読まれています。

(2) の解決策



Flashオーサリングツール (Adobe Flash Professional CS6など) の「アクセシビリティ」パネルで「名前」を設定します。

(3) 読み上げ順序の修正



- GUIサマリーで上から下に向かって読むときに、順序が適切 (自然) かチェックします。
 - 上の例では列ごとに左→右で読まれるべきですが、実際には 不自然な順序になっています。(丸は実際の順序)
 - 参考:コンテンツ開発者が何も指定しない場合、読み上げ順 序はFlash Playerにより自動的に計算されます。順序は各要素 の、画面上の位置に基づきます。

(3) の解決策



- (2)と同様に、「アクセシビリティ」パネルでタブインデックス値を設定します。
 - タブインデックス値は自然数
 - 小さいほど先に読まれる
 - 10刻みくらいで設定しておくと、後ほど融 通がききます
- Tip: ActionScriptで動的に設定することもできます http://www.adobe.com/resources/accessibility/best_practices/best_practices_acc_flash.pdf (英語)

連絡先

- ご質問およびご意見については ACTFプロジェクトのNews Group にご報告下さい。
 - http://www.eclipse.org/forums/in dex.php/f/136/
 - "NEW TOPIC" メニューから投稿が 可能です。(日本語で記載頂いて 大丈夫です。)